

第2回通常社員総会次第

日時 平成31年4月26日(金)

午後6時から

場所 榎あすかインテグレート

- 1 開会
- 2 理事長挨拶
- 3 出席者報告
- 4 議長選出
- 5 議事録署名人の選出
- 6 議案審議
  - 第1号議案 平成30年度事業報告
  - 第2号議案 平成30年度収支決算
  - 第3号議案 平成31年度事業計画
  - 第4号議案 平成31年度収支予算
- 7 報告事項
- 8 閉会
- 9 その他

平成 30 年度「コミュニティ食堂」事業報告書

① 事業の概要

どのような事業を行ったか。

平日の朝食の提供。

具体的には、毎週火曜日、水曜日、木曜日の 6:00～8:00 に実施。

大人 300 円、子ども 50 円の低料金で野菜、肉類、たんぱく質等、健康的でバラシスの摂れた朝食を提供

② 事業の振り返り

(1) 事業の対象がおかれていた状況や課題をどの程度まで改善できたか。

年度末で 120 回程度開催し、1,200 人程度参加。

平第 14 区の区長さんも毎週参加していただき、区長さんを囲むようなかたちで交流の輪ができ、コミュニティの場としてある程度実績ができたと考えています。

また、一人暮らしの高齢者の方で、参加されてより健康になり、地域の催しにも積極的に参加するようになった事例や閉じこもりがちだった小学生が家族と参加して、元気になった事例等もありました。

(2) この事業を行う上で一番苦労したこと。

苦労した点としては、「こども食堂は貧困家庭の人が行く所で、そんな所へ行ったら、みんなに笑われてしまう」という偏見があったことです。

都会では抵抗なくこういった事業も受け入れられておりますが、地方では周囲の目があり、時間をかけて丁寧に説明していかなければなりませんでした。

(3) この事業で達成できなかったこと、反省点。

利用人数は 1 回 15 人程度を目標としていましたが、平均すると 10 人弱の状況でした。今後はニーズに合わせて、曜日、時間帯等の検討をします。

また、子どもが多く利用できるような工夫をしていきたいと思います。

### ③事業の内容

(1) この事業は、具体的にどのようなことを行なったか。特に工夫した点。

公民館で平日の朝食の提供を行いました。

具体的には、毎週火曜日、水曜日、木曜日の6:00～8:00に実施。

大人300円、子ども50円の低料金でバランスの摂れた朝食を提供しました。

この食堂は、子どもの成長の手助け、高齢者の体力づくりがメインにこなしてはなりません。1回限りのイベントではなく、日常レベルに落とし込んだ事業でなければ効果は出ないと考え、週3日、朝食の提供を実施しました。

また、貧困対策がメインではないことを示すために、子ども食堂ではなくコミュニティ食堂と名付け、子どもも無料ではなく敢えて有料としました。

それから献立の周知を図るため、公民館の看板に掲示したほか、Facebook等で1週間分の献立を毎週発信しました。

また、コミュニティ食堂事業の理解を深めてもらうため、「BREEZE IWAKI」にサイトを開設したほか、1か月に1回程度「コミュニティ食堂だより」を作成し、地域の回覧やFacebook等に載せたりして普及に努めました。

(2) この事業はどのようなスケジュールで行ったか。

月	内容	場所や人数など
4月 ～ 6月	毎週火曜日、水曜日、木曜日の 6:00～8:00に実施。 大人300円、子ども50円の低料金でパ ランスの授けた朝食を提供。	平第14区公民館で、 スタッフ5人程度、 参加者10人弱
7月 ～ 9月	毎週火曜日、水曜日、木曜日の 6:00～8:00に実施。 大人300円、子ども50円の低料金でパ ランスの授けた朝食を提供。	平第14区公民館で、 スタッフ5人程度、 参加者20人程度
10月 ～ 12月	毎週火曜日、水曜日、木曜日の 6:00～8:00(12月から6:30～に変更) 大人300円、子ども50円の低料金でパ ランスの授けた朝食を提供。	平第14区公民館で、 スタッフ3人程度、 参加者10人弱
1月 ～ 3月	毎週火曜日、水曜日、木曜日の 6:30～8:00に実施。 大人300円、子ども50円の低料金でパ ランスの授けた朝食を提供。	平第14区公民館で、 スタッフ3人程度、 参加者10人弱

#### ④事業の担い手

(1) この事業におけるスタッフなどの役割分担はどのようなになっていたか。

スタッフは、皆ボランティアで働いており、朝早い時間は厳しい状況で常勤はできない状態であった。

そこで、理事長が前日に買出し、前処理をしておき、当日は加熱調理し、曜日ごとに割振られたボランティアが、料理の盛付け、配膳、洗い等をするように役割分担を行いました。

<p>(2) 団体及びスタッフの持つノウハウ（専門性）がどのようにこの事業に活かされたか。</p>	<p>(3) 外部団体、または個人から、どのような協力が得られたか。</p>
<p>調理師の免許を持つスタッフが2名おり、最初料理の基本的な指導を積極的に行ってくれた。 また、ウェブ上でデータを処理するのが得意なスタッフがいて、月に1回程度「コミュ食だより」を作成してくれた。</p>	<p>NP0 法人ザ・ピープルさんからフードバンクの事業でトマトジュースを頂いたり、いわき NP0 センターさんの申請で、明治製菓のお菓子を頂きました。 また、磐栄運送㈱から毎年新米を 30kg 頂き、内山産業㈱からも人参や大根等多くの食材の提供を受けました。</p>

⑤事業の成果

<p>この事業を行うことで、どのような成果をあげることができたか。</p>
<p>本団体も今年度 NP0 法人として設立したばかりであり、具体的な事業はこれが最初であることから、ボランティアなどのコアボの仕方、日計表等の経理、区長や館長をはじめとする地域との連携、補助金の活用の仕方等すべてが学びでした。 そのような中で、年間 120 回程度事業を実施してきたことにより、参加者や地域との間に信頼関係が構築されたことが大きな成果だったと思われまます。 やはり地道に継続して行うことが、このような社会事業には大事なのだと改めて気づかされました。 また、参加者との話の中で、当該事業の改善点や新規にやるべき事業のヒントが得られることも多く、様々な方の想いや願いに耳を傾けていくことがニーズの発掘には必要なことだと感じていきます。</p>

# 貸借対照表

特定非営利活動法人共創のまちサポート

全事業所

[税込] (単位: 円)

平成31年 3月31日 現在

## 《資産の部》

### 【流動資産】

(現金・預金)	
東邦981	
現金・預金計	50,410
(売上債権)	
未収金	50,410
売上債権計	488,000
流動資産合計	488,000
資産合計	538,410

## 《負債の部》

### 【流動負債】

未払費用	104,800
短期借入金	156,060
未払法人税等	91,600
流動負債合計	352,460
負債合計	352,460

## 《正味財産の部》

前期繰越正味財産	0
当期正味財産増減額	185,950
正味財産合計	185,950
負債及び正味財産合計	538,410

185,950
538,410

# 財 産 目 録

特定非営利活動法人共創のまちサポート  
全事業所

[税込] (単位：円)  
平成31年 3月31日 現在

## 《資産の部》

### 【流動資産】

(現金・預金)		
東邦981	<u>50,410</u>	
現金・預金計	50,410	
(売上債権)		
未 収 金	<u>488,000</u>	
売上債権計	488,000	
流動資産合計	<u>538,410</u>	
資産合計		538,410

## 《負債の部》

### 【流動負債】

未払費用	104,800	
短期借入金	156,060	
未払法人税等	<u>91,600</u>	
流動負債合計	352,460	
負債合計		<u>352,460</u>
正味財産		<u>185,950</u>

# 活動計算書

[税込] (単位：円)

特定非営利活動法人共創のまちサポート

自平成30年4月1日 至 平成31年3月31日

特定非営利活動  
に係る事業

その他の事業

合計

【経常収益】

【受取会費】

正会員受取会費

60,000

60,000

【受取寄付金】

受取寄付金

129,540

129,540

【受取助成金等】

受取助成金

400,000

400,000

受取補助金

963,000

963,000

【事業収益】

自主事業収益

262,702

262,702

経常収益 計

189,540

1,625,702

1,815,242

【経常費用】

【事業費】

(人件費)

人件費計

0

0

0

(その他経費)

売上原価

0

748,709

748,709

業務委託費

104,800

104,800

会議費(事業)

56,000

56,000

消耗品費(事業)

436,368

436,368

その他経費計

0

1,345,877

1,345,877

事業費 計

0

1,345,877

1,345,877

【管理費】

(人件費)

人件費計

0

0

0

(その他経費)

旅費交通費

14,710

14,710

通信運搬費

9,760

9,760

地代家賃

14,675

14,675

広告宣伝費

129,600

129,600

新聞図書費

4,406

4,406

保険料

18,340

18,340

支払手数料

324

324

その他経費計

0

191,815

191,815

管理費 計

0

191,815

191,815

経常費用 計

0

1,537,692

1,537,692

当期経常増減額

189,540

88,010

277,550

【経常外収益】

経常外収益 計

0

0

0

【経常外費用】

経常外費用 計

0

0

0

税引前当期正味財産増減額

189,540

88,010

277,550

法人税、住民税及び事業税

91,600

91,600

当期正味財産増減額

189,540

△3,590

185,950

前期繰越正味財産額

0

0

0

次期繰越正味財産額

189,540

△3,590


185,950



## 監査報告

平成30年度「特定非営利活動法人 共創のまちサポート」の  
収支決算内容及び財産状況を監査した結果、適正に執行されて  
いることを確認したのでここに報告します。

平成31年4月18日

監事 菊地 秀明 

## 平成 31 年度「コミュニティ食堂」事業計画書

### ① 事業の概要

どのような事業概要か。

食を通じて、地域のコミュニティの再生、地域経済の活性化、子どもの貧困解消等、複合的な課題の解決を図っていくことを目的とする。

当面は、安価な金額の朝食でバランスの摂れた食事を提供するコミュニティ食堂事業を実施するが、その内容は、地域の八百屋、米屋、味噌屋等地域小売店と連携を図り、朝食を提供することで、子どもたちもすっかり朝食を摂り、独居高齢者等の方も気軽に立ち寄り、顔見知りになって交流を深めていくものである。

### ② 事業対象の把握

(1) 誰/何を対象として、この事業を行うのか。

実質的には、第 14 区集会所近隣に住む住民全般を対象とするが、他地域からの参加も歓迎である。地域のコミュニティの再編を大きな目標にしており、具体的には、朝食を作るのが容易ではない共働き、父子母子、貧困などの世帯、独居高齢者、高齢者夫婦の世帯等の幅広い参加があれば事業の効果も上がると思われる。

(2) 対象のおかれている現状・課題は何か。

近年、地域のコミュニティが希薄になっており、どういった環境の世帯がいるのか、独居老人の状況はどうか、よくわからない。

また最近、貧困や母子家庭で忙しく、朝食を摂らない幼稚園児や児童生徒がいると現場からの声を聴く。そういった住民も対象である。

加えて、あんな（貧困の人が集まる）ところへ行ったら笑われるといった偏見も根深くある。

(3) この事業によって、現状をどの程度まで改善できるのか。

このコミュニティ食堂に参加することによって、希薄であったコミュニティが再編され、高齢者の状況も分かり、身寄りがなく、介護の必要性があれば、しかるべき措置を関係機関に依頼することもできる。

また、朝食を摂らない人たちに、バランスの摂れたおいしい朝食を提供することで、体力及び気力の充実に大いに役立つものと思われる。

課題解決には、日常レベルに落ちた継続的な事業が大切であり 100 回以上の開催、1,000 人以上の参加を目標としたい。(前年度はこの目標をクリア)

### ③事業内容

(1) この事業は、具体的にどのような計画内容で行うのか。

この事業は、食を通じて地域のコミュニティの再編を図っていくというのが主な目的であり、地域の住民や商店等を巻き込んで、料理や野菜等食材の提供など様々な協力のもと進めていき、加えて磐城高校も近いことから学習ボランティアによる学習支援も含め、最終的には地域の方が主役となって継続し展開していく形を目指していく。その成功事例をもとに別の場所でも同様の事業を進め、将来的には市内に多くのコミュニティ食堂が形成されるようにする。

また、最終的には朝食だけでなく、給食センターとタイアップした昼食、スパーマーケットと連携した夕食等も提供し、1日の食事をすべて提供できる体制としたい。

(2) (1)の計画内容の準備から事業終了まで。

時期	内容	場所や人数など
4月 ～ 6月	週に3回程度(火,水及び第3土)朝食の提供(6:30～8:30)を行う。 1食当たり大人300円、小中学生の子どもは50円。予約無しでも受入れ可。 実施日を回覧やSNSなどで周知を図っていく。	場所:第14区集会場 参加人数:延べ人数で30人程度 スタッフ数:3人
7月 ～ 3月	いわき市社会福祉協議会と共催で、 <u>好</u> 間公民館において、月に1回、土曜日に「ふれあい交流事業」の中で「コミュニケーション食堂」事業を展開することを検討中。 <u>無料</u> 実施日を回覧やSNSなどで周知を図っていく。	延べ人数を30人から45人程度に増やしたい。

回覧

④事業の担い手

<p>(1) この事業に関わる団体の人数とその役割分担はどのように行うのか。</p> <p>団体としては、4人程度を考えており、食材を購入し、料理を作る人が2名、配膳、片付けをする人が2名とする。</p> <p>しかし、皆仕事があることから、曜日ごとに配膳・後片付けのボランティアは代わっていく。</p> <p>また、地域の八百屋さんで野菜の種類が10品程度入っているサラダを注文しており、ヘルシーで人気があることから継続していきたい。</p>	
<p>(2) 団体及びスタッフの具体的な実績や経験を書いてください。</p> <p>理事長は、平第1集会場で実施していた「子ども食堂」を約2年間、最初の立上げから参加していた。</p> <p>また、地域の小学生・中学生をそれぞれのクラスで月に2回(土曜日)英語をフリースクールとして教えていた。</p>	<p>(3) 外部団体、または個人による協力の子定があれば、書いてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「磐栄ホールディング」さんからのお米の提供。</li> <li>・「NP0法人ザ・ピープル」さんからフードバンク」事業の一環としての支援。</li> <li>・「いわきNP0センター」さんから子ども支援事業の推薦など。</li> </ul>

⑤事業の活用による団体の発展性

この事業を行うことによって、どのような成長が期待できるか。  
これを踏まえた今後の活動について。

この事業を行うことにより、事業の進め方や収支についてのノウハウを学ぶことができ、地域の方や様々な団体と連携することで、新たな事業の協力にもつながっていくものと期待している。

また、継続的に実施回数を増やし実績を上げていくことで事業への理解や団体への信頼度も増し、その他の事業に対しても多くの市民の理解や協力が得やすくなると考える。

当団体のコンセプトは、民間でできる事業は幅広く行ない、行政と併せて共創のまちを創り上げることである。以下、定款でも事業実施を予定している。

- ① CSR活動サポート事業
- ② 行政等補助事業
- ③ 学習支援(フリースクール)事業

- ④ コミュニティ食堂事業
- ⑤ 人財育成事業
- ⑥ 地域清掃事業
- ⑦ 地域情報出版事業
- ⑧ 高齢者サポート事業
- ⑨ 障害者サポート事業
- ⑩ 婚活サポート事業
- ⑪ 困りごと相談事業
- ⑫ 経営コンサル事業
- ⑬ 武道継承事業
- ⑭ 図書カフェ事業
- ⑮ 各種アンケート事業
- ⑯ 上記に関連する一切の事業

また、私たちは、いわき出身の中央省庁の有志が組織する「霞が関からいわきを支援する会」（会長は福島大学の理事・事務局長の内田広之氏）とも連携しており、中央省庁や大企業のCSRの一環としての「ひと・もの・かね」の受け皿としての機能も有している。今後は活動内容を動画で広報し、理解を深めていただき、この事業に即した支援を受けていきたい。

⑥ 前年度の実績・反省点及び変更内容

(1) 前年度実施した事業の実績・成果と反省点等。

平日の朝食の提供。

具体的には、毎週火曜日、水曜日、木曜日の6:00～8:00に実施。

大人 300 円、子ども 50 円の低料金で野菜、肉類、たんぱく質等、健康的でバランスの摂れた朝食を提供。年度末で 120 回程度開催し、1,200 人程度参加見込み。

反省点としては、1 回の平均参加が 10 人弱であり、コストは 3 倍近いなど。効率的な食材の活用を検討していきたい。

(2) 前年度からの変更点や、拡充を図る点等。

事業を実施する曜日や時間帯を検討したい。

参加者や父母会などからの要望などもあり、例えば毎週火曜日、水曜日の朝食

6:30～8:30、第 3 土曜日のランチ 11:00～13:00 の実施していく予定。

また、新しくやってみたいという方には事業のノウハウなどを伝えるなどして支援し、新しい食堂を立ち上げてみたい。

平成31年度 事業収支予算

事業名	コミュニティ食堂事業
団体名	NPO 共創のまちサポート

収入の部	予算額	内容	積算基礎	(単位:円)
経費項目	235,940円	年会費代	17人×5,000円=85,000円	
自主財源		審附	5人×10,000円=50,000円	
		入会金	5人×10,000円=50,000円	
		その他	1,050,940-1,000,000=50,940円	
事業収入	468,000円	朝食代	10人×300円×3回/週×4週/月×12月=432,000円	
			5人×50円×144回=36,000円	
補助金	1,000,000円	まちづくり活動	1,903,940円×2/3=1,269,293 > 1,000,000円	
		支援事業	1,000,000円 < 1,050,940	
			*1,903,940-(185,000+468,000+200,000)=1,050,940	
その他助成金	200,000円	子ども食堂助成金	200,000円	
合計	1,903,940円			

支出の部	予算額	内容	積算基礎	見積書番号	補助対象
経費項目					
報償費	35,000円		7人×5,000円/年=35,000円		
旅費					
消耗品費	25,000円	食器類一式	20,000円		
		台所洗剤、ラップ代	5,000円		
印刷製本費					
通信運搬費					
広告費					
委託料	129,600円	BREEZE IWAKI掲載	ポータルサイト掲載委託代129,600円		
使用料	22,000円	集会所使用代	10,000円		
		チラシコピー代	50枚/月×12月×10円=6,000円		
		パソコンレットコピー代	200部×3枚×10円=6,000円		
賃借料					
原材料費	1,674,000円	食材費	700円/人×15人/回×144回/年=1,512,000円		
		お米	1,500円/袋×1.08×100袋(5kg)=162,000円		
備品購入費					
手数料					
保険料	18,340円	事業活動包括保険	超ビジネス保険(事業活動包括保険) 18,340円		
その他					
合計	1,903,940円				
補助対象経費	1,903,940円				



(法 第 10 条関係)

### 社員のうち 10 人以上の者の名簿

(特定非営利活動法人 共創のまちサポート)

氏 名	住 所 又 は 居 所
増子 裕昭	いわき市平字高月 103 番地の 1
國井 達夫	いわき市平字新川町 14 番地
菅波 健	いわき市平神谷作字原前 5 番地
山本 健一	いわき市中央台高久 2 丁目 12 番地の 6
石井 波夫	いわき市平字六人町 26 番地の 16
高萩 芳	いわき市中央台鹿島 3 丁目 45 番地の 3
阿邊 智	いわき市瀬戸町竜ノ沢 9 番地
金澤 葉月	いわき市平谷川瀬字三十九町 39 番地の 1 ライフコート B-2
増子 浩子	いわき市平字高月 103 番地の 1
神田 芳江	いわき市好間町下好間一町坪 137 番地の 1
川崎 葉子	いわき市平下荒川川前 132 番地の 4

備考

- 1 法人等が社員となる場合は、その名称及び代表者の氏名を「氏名」欄に、またその所在地を「住所又は居所」欄に記載する。
- 2 用紙の大きさは、日本工業規格 A 列 4 番とする。

## 謝金に関する規則

### (目的)

第1条 特定非営利活動法人共創のまちサポートにおける謝金の支給に関する事務の取扱いについては、別に定めがある場合を除き、この規則の定めるところによる。

### (謝金対象者)

第2条 特定非営利活動法人共創のまちサポートの理事長以外の者を、この規程による謝金対象者とする。

### (謝金の種類)

第3条 謝金は、次に掲げるとおりとする。

(1) 定款に定める事業に対するボランティアへの謝金(以下「ボランティア謝金」という。)

(2) 弁護士、税理士、社会保険労務士等専門の知識を有する者への相談等に対する謝金

(3) その他の謝金  
(謝金の単価)

第4条 謝金の単価は、社会通念上適当と認める範囲内で、理事長が決める額とする。

### (ボランティア謝金)

第5条 定款に定める事業に対するボランティア活動については、原則無償とするが、法人の財政状況等により理事長が支出すべきと判断した場合には謝金を支払うことができるものとする。

### (規則の改廃)

第6条 この規則の改廃は、この規程の改正は理事会にて行うものとする。  
(雑則)

第7条 この規則に定めのない事項については、理事会に諮って別に定める。

### 附 則

この規則は、平成31年4月26日から施行し、平成31年4月1日から適用する。